

日本大学工学部紀要

投稿規程及び論文執筆要綱

(平成 16 年 5 月 27 日改訂)

日本大学工学部
工学研究所

日本大学工学部紀要 投 稿 規 程

改訂 平成16年5月27日

工学研究所運営委員会

は じ め に

日本大学工学部において発行する紀要に投稿する原稿は、日本大学工学部紀要論文執筆要綱によって執筆することとする。

1 投 稿 資 格

投稿者は日本大学工学部の専任教職員と非常勤講師とする。ただし連名の場合は、上記以外の者を加えることができる。

2 投 稿 規 定

- ① 紀要は9月、3月の年2回発行する。
投稿論文は随時受け付ける。
- ② 投稿論文は独創的で信頼性があり、工学の発展また人文、社会及び自然科学の発展に寄与することの大きい完成された研究、あるいは研究途上におけるまとまった結果を記録した著者の原著であって、他の刊行物に未発表のものとする。(同一論文の場合は邦文か欧文のいずれか一報とする。)
- ③ 原稿は簡潔に表現し、A4版用紙にて提出する。また、論文には英文要旨約300語を添付する。原則として、原稿枚数は刷り上り10枚以下を目安とする。
- ④ 論文誌の分量上の制約のため、同一投稿者からの投稿数が制限されることがある。
- ⑤ 申込書(様式1)1部、投稿論文原稿とそのコピー2部に表題用紙(様式2)を添付し、研究事務課へ提出する。
また、申込書と表題用紙は、研究事務課から受け取る。
- ⑥ 投稿の手順は、別紙1に示す「紀要論文投稿査読の手順」に従う。

論文執筆要綱

日本大学工学部紀要へ投稿する論文の原稿は、この要綱により執筆する。

記述の方法

1 表題

表題用紙（様式2）に表題・著者名・所属など必要事項を記入する。なお検索のためのキーワードを該当欄に記入する。キーワードの選択については、関連学会の慣例に従うこととする。

2 英文要旨

邦文、欧文ともに英文表題と約300語の英文要旨をつける。要旨は本文と切り離しても論文の趣旨がわかるように書く。用紙はA4版を用いる。

3 本文の記述

文章は邦文または欧文のいずれかとする。特別の場合を除き、邦文の場合はA4版用紙に左書きとし常用漢字及び新かなづかいによる平仮名を用い、外国語は片仮名または原語のままとする。欧文の場合は、英・独・仏語のいずれかとし、A4版用紙に書く。

4 用語

用語は特別の場合を除き、文部科学省またはJISで制定された学術用語集もしくはそれに準ずる。

5 数値

数値はアラビア数字を用いる。

6 図・表・写真

図・表・写真は次による。

① 図・表・写真は、原則として別紙（A4版）に1図を1枚に記載して、本文とは別にとじ、挿入箇所を本文原稿の該当欄外に記入する。

② 図（写真を含む）と表は、それぞれ別の通し番号を付ける。なお付録中のものは別の通し番号を付ける。同一番号の中の区分は（a）、（b）……とする。

例 図1, 図2（a）, 表1（邦文論文中のもの）, Fig.1, Table2, Photo 3（欧文論文中のもの） 図1. A, 表1. A（邦文付録中のもの） Fig.1.A, Table2.A（欧文付録中のもの）

③ 図、表の説明（名称）はかならず入れ、図では下側に、表では上側につける。

④ 図・表は原則としてモノクロムとする。写真はカラーとすることができる。

7 参考文献

- ① 参考文献には通し番号を付加して、論文の最後にまとめて記載する。引用の方法は、本文中の該当語句の右肩に 1), 2), 3) ……で示す。
- ② 参考文献の記載の方法は、原則として次の形式によるものとするが、関連学会の慣例に従って記載してもよい。

論文の場合は、番号、著者、題目、誌名、巻、号、始ページ～終ページ、発行年
単行本の場合は、番号、著者、書名（版・巻があれば記入）、ページ、発行所、発行年

文献の記載例

1 雑誌の中の記事（論文）

- (1) 南 敏：画像符号化を展望する，信学誌 ,71,7,pp.658 - 662（昭63）
- (2) J. F. Kurose, M. Schwartz and Y. Yemini：Multiple - Access Protocols and Time - Constrained Communication, Comput. Surv. 16, 1, pp. 43 - 70（1984）
- (3) P. G. Spring：SDN — A New Approach to Business Networks, AT & T Technology, 1, 1, p. 20（1986）

2 単行本（全体を参照）

- (1) 畑 雅恭，古川計介：PLL - IC の使い方，産報（昭51）

3 単行本（一部を参照）

- (1) 押田勇雄：液体と溶液，pp. 47 - 49，岩波書店（1956）
- (2) 東京天文台編：理科年表，p. 478，丸善（昭和57）

- ③ 内外の雑誌の略し方は、関連学会の慣例に従うこととする。なお、日本大学工学部紀要の英文名 *Journal of the College of Engineering Nihon University* の略し方は、*J. Coll. Eng. Nihon Univ.* とする。

投稿及び著者校正

1 掲載申込み

1 ページ 2 - ②を参照。論文申込書（様式 1）の申込氏名欄には連絡責任者の氏名を記入する。

2 連絡責任者

連名論文の場合は、連絡責任者を決めて表題用紙（様式 2）執筆者名欄に記入する。連絡責任者は日本大学工学部の専任教職員と非常勤講師とする。著者校正等については、連絡責任者を通して行う。

3 査読

査読は投稿論文が日本大学工学部紀要に掲載される論文として、ふさわしいものであるかどうかを判定する。査読にともなって見出された疑義や不明な事項についての検討を投稿者に依頼することがある。査読は論文の新規性、有用性、信頼性及び完成度について客観的に評価し、掲載の可否を総合的に判定する。ただし完成度については、研究がある程度の段階まで進展しており、経過報告としてまとまっていれば可とする（査読要綱は別に定める。）

査読者から投稿者への検討の依頼は検討箇所一覧表（様式 3-1）によって行う。これに対して投稿者から査読者への回答は、検討結果一覧表（様式 3-2）によって行う。検討結果一覧表の通し番号は査読者からの検討箇所一覧表の通し番号と同じ番号を対応させて付けることとする。

4 著者校正

著者校正は初校と再校の 2 回とする。校正期限が間に合わない場合には次巻掲載とする。また校正は別紙 2 の校正例に従って行うものとし、原則として原文を変更できない。

5 抜き刷り

抜き刷りは、実費を投稿者負担とする。

平成 年 月 日

工学研究所長

学 科 _____

氏 名 _____ (印)

工学部紀要論文申込書

下記の論文を工学部紀要に掲載くださるようお願い申し上げます。

記

題 名

添 付 書 類

紀要原稿 (表題用紙 枚, 英文要旨用紙 枚, 本文 枚, 表 枚,
図 枚, 写真 枚, 合計 枚) 及びそのコピー 2 部

以 上

表 題 用 紙

邦文・欧文表題（40字以内，副題があればそれも書くこと）			
英文表題			
執 筆 者	所 属	漢 字 氏 名 *	ローマ字氏名（姓は大文字）
キーワード（最大5ワード）			

注1 所属記入例（邦文原稿）

日本大学工学部土木工学科

〇〇大学〇〇学部〇〇学科

〇〇株式会社

注2 所属記入例（欧文原稿）

Department of Architecture, College of Engineering, Nihon University

注3 欧文原稿の場合は*印欄への記入は不要である。

注4 連名論文の場合には連絡責任者に○印を付ける（漢字氏名の前に）。

検討箇所一覧表

題名

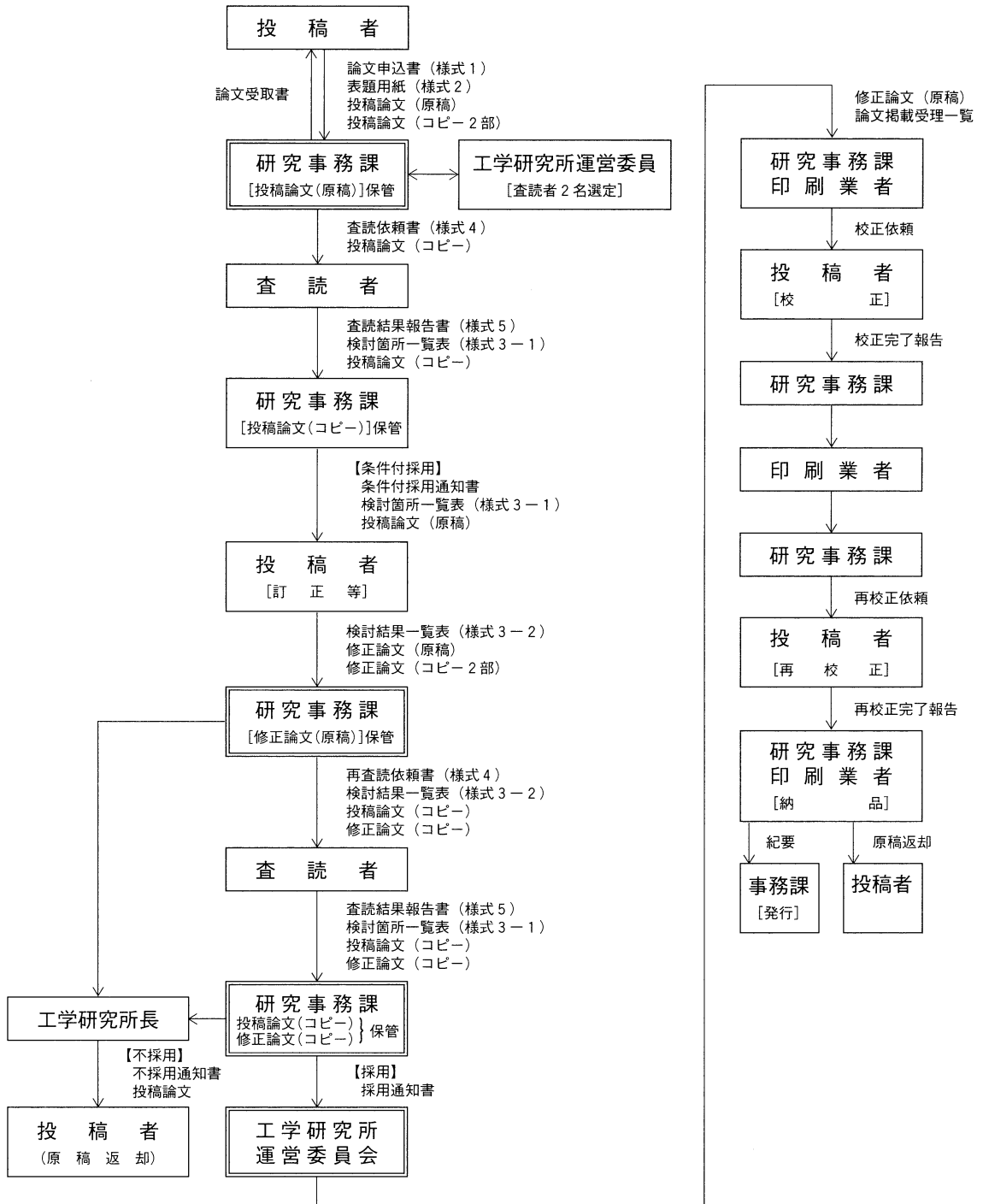
通し番号	頁	行	検討事項

検 討 結 果 一 覧 表

題 名

通し番号	頁	行	検 討 結 果

紀要論文投稿査読の手順



校正例

1.3 放電開始電圧の不正

冷陰極の放電開始電圧 V_B は一般に次式であらわさる。

$$V_B = V_0 - \frac{1}{\eta} \log \left(1 + \frac{1}{r} \right) \quad (1)$$

r_1 はタウンゼント第1電離系数^αと $\eta = \alpha/E$ たる関係に結ばれている量^係は、イオン1個あたりに換算した2次電子放出量、(略)。

式(1)から明らかに V_B は r および

η の関数で、 η または E/P およびガスの種類の関数であるから(略)。

このうち最も変化の生じやすい r に対し、Paschen法則の V_B の最小値 V_{Bmin} を示すと図1のようになる。図1は α/p についての近似式

$$\frac{\alpha}{p} = A \left\{ 1 - \frac{1}{e^x} \left(\frac{E/p - B}{C} \right) \right\} \quad (3)$$

を用い、 $V_{Bmin} - V_0$ を計算したものである。これによって r の100%の変化は放電開始電圧の10%の変化をきたすことが解される。

校正記号

- 字 誤字を正せ
- トル 取り去れ
- イキ 消し誤り、元のまま
- 留 逆字、横字等を正せ
- ◇ 字間、語間をつめよ
- ∨ 字間を適当にあけよ
- 下 ↓ 下げよ
- 上 ↑ 上げよ
- 左 ← 左へ移せ
- 右 → 右へ移せ
- ∪ 文字を入れよ
- 周波数 活字が悪い。取りかえよ
- 周(数)波 字または語を入れかえよ
- ∧ 字を入れよ

- 周波数 行のゆがみを正せ
- 改行
- 行をつづけよ
- < > 行間つめよ
- > < 行間あけよ
- 行を入れかえよ
- イタリック体(斜体)になおせ
- ローマン体(直立体)になおせ
- 表けい(細けい)にせよ
- 裏けい(太けい)にせよ
- 数学記号等の上つきまたは下つきの間違いを正せ(サフィックスの位置)
- 大文字または小文字になおせ